

# 早稲田大学におけるオンライン統計教育教材を活用した データリテラシー養成の取り組み

石井雄隆<sup>1</sup> 堀井俊佑<sup>2</sup> 須子統太<sup>3</sup>

早稲田大学 大学総合研究センター<sup>1</sup>

早稲田大学 グローバルエデュケーションセンター<sup>2</sup>

早稲田大学 社会科学総合学術院<sup>3</sup>

## 1. はじめに

「公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム」や文部科学省の「数理及びデータサイエンスに係る教育強化」事業などが行われ、統計やデータサイエンスに係る研究の推進や人材育成などが近年盛んに行われている。

早稲田大学では、フルオンデマンドの統計科目を開講している。それらのコンテンツを学内のLMS上で公開し、授業や演習などで活用可能な統計教材モジュールを現在構築している。本発表では、取り組みの概要と今後の展望について紹介する。

## 2. 国内における取り組み

統計・データサイエンス教育は国内において、すでに様々な取り組みが行われている。総務省統計局統計情報システム課統計情報企画室（2016）は、MOOC講座として「社会人のためのデータサイエンス入門」と「社会人のためのデータサイエンス演習」を開講し、入門編は登録締切の時点で15,435人が登録、実践編は、13,939人が登録し、その関心の高さが明らかとなった。

高等教育機関においては、滋賀大学、横浜市立大学にデータサイエンス学部が設置され、立教大学では社会情報教育研究センターが設置されるなどデータサイエンスや統計教育のニーズは高まっている。

## 3. 統計モジュールプロジェクトの概要

早稲田大学グローバルエデュケーションセンターでは、2014年よりフルオンデマンド科目の統計リテラシーという講義を全学に開講している。統計リテラシーの一部の科目は商学部で必修科目となっているが、提供している内容は全学向けの内容から一部を変更している。商学部以外の学部でもニーズはあると考えられるが、学部によ

て必要となる統計学の知識は異なる。

そういった背景を踏まえて、本プロジェクトでは、統計リテラシーの教材コンテンツを再構成し、一つのコンテンツを内容に応じて細かくブロック化し、テキスト、動画、練習問題を一つのモジュールとして、学内向けに公開することを行っている。それらにより、教員が担当科目において、モジュールを主要教材の一部として利用することや予習・復習用の副教材として活用、またレポートや卒業論文を執筆するにあたり、必要となる統計関連の知識やスキルを修得するために活用することを目指す。早稲田大学においては、各学部で様々な統計関連の講義が開講されているが、オンライン教材を活用することで、分野を問わず必要な統計知識を提供することが可能となる。

また関連してMath and Stat Centerにおいて、Leaning Assistant (LA)によるサポート体制の構築を行っており、統計学に関する疑問を解決する仕組みも整えている。

## 4. おわりに

本発表では、早稲田大学における統計教育の取り組みについて紹介した。今後の課題としては、さらなるコンテンツの拡充とこれらの統計モジュールコンテンツを活用した教育実践の蓄積と課題の改善などがあげられる。

## 参考文献

- 総務省統計局統計情報システム課統計情報企画室（2016） データサイエンス・オンライン講座の実績. 統計9月号, 21-25  
堀井俊佑（2016） 統計教材モジュール展開プロジェクト. 第3回 CTLT×DCC 産学交流フォーラム大学総合研究センター設置プロジェクト報告会発表資料